

NY マーケットレポート (2015 年 2 月 2 日)

NY 市場では、序盤に発表された米個人消費支出が 11 ヶ月ぶりにマイナスに落ち込み、2009 年 9 月以来 5 年 3 ヶ月ぶりの大きな減少率となったことや、米 ISM 製造業景況指数が 2014 年 1 月以来 1 年ぶりの低水準となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、株価が軟調な動きとなったことから、安全資産とされる円を買う動きが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な展開が続いた。ただ、終盤には株価が上げ幅を大きく拡大する動きとなったことから、ドル円・クロス円も堅調な展開が続いた。

2015/2/2 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	117.59	117.88	116.96
EUR/JPY	133.05	133.38	132.31
GBP/JPY	176.90	177.74	176.50
AUD/JPY	91.58	91.70	90.71
EUR/USD	1.1316	1.1326	1.1297

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	117.85	117.57
EUR/JPY	133.60	132.96
GBP/JPY	177.57	176.45
AUD/JPY	92.03	91.49
EUR/USD	1.1355	1.1307

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17558.04	-116.35
ハンセン指数	24484.74	-22.31
上海総合	3128.30	-82.06
韓国総合指数	1952.68	+3.42
豪ASX200	5625.34	+37.02
インドSENSEX指数	29122.27	-60.68
シンガポールST指数	3423.35	+32.15

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6782.55	+33.15
仏CAC40	4627.67	+23.42
独DAX	10828.01	+133.69
ST欧州600	343.48	+1.22
西IBEX35指数	10328.10	-75.20
伊FTSE MIB指数	20485.69	-17.69
南ア 全株指数	51394.55	+127.74

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	117.55	117.71	117.12
EUR/JPY	133.23	133.32	132.84
GBP/JPY	176.64	177.12	176.13
AUD/JPY	91.73	91.85	91.45
NZD/JPY	85.89	85.94	85.42
EUR/USD	1.1335	1.1363	1.1302
AUD/USD	0.7804	0.7830	0.7784

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17361.04	+196.09
S&P500	2020.85	+25.86
NASDAQ	4676.69	+41.45
その他主要株	終値	前日比
カナ トロント総合	14900.47	+226.99
ブラ ボルサ指数	休 場	
メキシコ ボベスバ指数	47650.73	+743.05

*メキシコ市場はConstitution dayのため休場

2/3 経済指標スケジュール
08:50 【日】1月マネタリーベース
09:00 【NZ】1月ANZ商品価格指数
09:30 【豪】12月貿易収支
09:30 【豪】12月住宅建設許可件数
12:30 【豪】政策金利発表
16:00 【スイス】12月貿易収支
17:00 【トルコ】1月消費者物価指数
17:00 【トルコ】1月生産者物価指数
18:30 【英】1月建設業PMI
19:00 【欧】12月生産者物価指数
22:30 【シンガポール】1月購買部景気指数
22:30 【シンガポール】1月電子産業指数
22:30 【カナダ】12月鉱工業製品価格
22:30 【カナダ】12月原料価格指数
0:00 【米】2月IBD/TIPP景気楽観指数
0:00 【米】12月製造業受注指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1276.90	+2.30
NY 原油	49.57	+1.33
CMEコーン	369.75	-0.25
CBOT 大豆	959.50	-1.50

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.47%	0.46%
3年債	0.77%	0.74%
5年債	1.19%	1.17%
7年債	1.50%	1.47%
10年債	1.68%	1.65%
30年債	2.26%	2.23%

2/3 主要会議・講演・その他予定

・ ミネアポリス連銀総裁 講演

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

22:00

ドル/円 117.64 ユーロ/円 133.14 ユーロ/ドル 1.1316

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6764.11	+14.71	ダウ INDEX FUTURE	17138	+41
仏 CAC40	4605.41	+1.16	S&P500 FUTURE	1992.80	+4.40
独 DAX	10747.08	+52.76	NASDAQ FUTURE	4144.50	+3.25

(出所: SBILM)

22:00

《企業決算》

米エクソンモービル

第4四半期1株利益 1.56ドル (予想 1.34ドル)

22:30

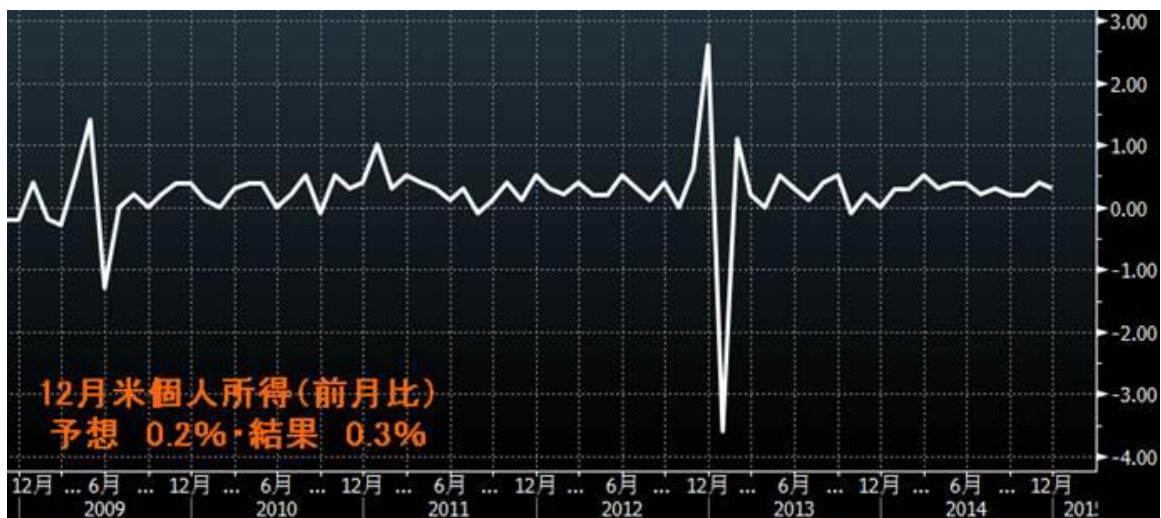
《経済指標の結果》

12月米個人所得(前月比) 0.3% (予想 0.2%・前回 0.3%)

前回発表の0.4%から0.3%に修正

12月米個人支出(前月比) -0.3% (予想 -0.2%・前回 0.5%)

前回発表の0.6%から0.5%に修正



(出所: ブルームバーグ)



指標結果データ

《米個人所得・支出》

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
個人所得	0.3	0.3	0.4	0.2	0.3	0.2
賃金・給与	0.1	0.6	0.3	0.2	0.5	0.3
可処分所得	0.3	0.3	0.4	0.1	0.3	0.2
個人消費支出	-0.3	0.5	0.3	0.2	0.6	0.2
個人貯蓄率	4.9	4.3	4.5	4.5	4.7	5.0

22:30

《経済指標の結果》

12月米 PCE デフレーター (前年比) 0.7% (予想 0.8%・前回 1.2%)

12月米 PCE コア・デフレーター (前月比) 0.0% (予想 0.0%・前回 0.0%)

12月米 PCE コア・デフレーター (前年比) 1.3% (予想 1.3%・前回 1.4%)





23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17209.39	+44.44
ナスダック	4646.70	+11.46

(出所:SBILM)

23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

1月マークイット米国製造業 PMI 53.9 (予想 53.7・前回 53.7)



0:00

《 経済指標の結果 》

1月ISM製造業景況指数 53.5 (予想 54.5・前回 55.1)
 前回発表の 55.5 から 55.1 に修正



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《 米 ISM 製造業景況指数 》

	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月
景気	53.5	55.1	57.6	57.9	56.1	58.1	56.4
価格	35.0	38.5	44.5	53.5	59.5	58.0	59.5
生産	56.5	57.7	62.6	62.8	62.4	63.1	60.9
新規受注	52.9	57.8	62.1	63.0	59.4	63.9	62.0
受注残	46.0	52.5	55.0	53.0	47.0	52.5	49.5
入荷遅延	52.9	58.6	57.0	56.1	52.6	54.2	54.3
在庫	51.0	45.5	51.5	52.5	51.5	52.0	48.5
雇用	54.1	56.0	54.6	55.2	54.6	57.4	56.3

0:00

《 経済指標の結果 》

12月米建設支出(前月比) 0.4% (予想 0.7%・前回 -0.2%)
 前回発表の -0.3%から-0.2%に修正



(出所:ブルームバーグ)



0 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、米製造業の景況指数が市場予想を下回ったほか、12月の米個人消費支出も低調だったため、米景気の先行きに対する警戒感から主要株価は軟調な動きとなっている。ダウ平均株価は、序盤堅調な展開で始まったものの、その後はマイナス圏に下落しており、前週末比で一時127ドル安まで下落する動きとなっている。

《 海外の話題 》

米国の製油能力の10%を占める施設の労働者によるストライキは、2日目に入った。米国の200強の製油所や石油ターミナル、パイプライン、化学品工場の従業員が加入する全米鉄鋼労働組合（USW）は、労働協約の更新交渉で合意に至らなかったことから1日、国内9カ所でストを開始した。

全米規模のストは1980年以来で、当時のストは3ヵ月続いた。これまでストで生産を制限しているのは9カ所のうち1カ所のみだが、USW組合員の全面ストとなれば、米国の燃料生産の最大64%に支障が出る恐れがあると指摘。

組合側は、米エクソンモービル、シェブロンなど石油企業を代表してロイヤル・ダッチ・シェルが提示した5つの提案を拒否した。

《 経済指標のポイント 》

(1) 12月の米個人所得・消費統計では、個人消費が前月比-0.3%と11ヵ月ぶりのマイナスとなり、2009年9月以来5年3ヵ月ぶりの大きな減少率となった。個人所得は+0.3%と市場予想の+0.2%を上回る結果となった。全米小売連盟の統計では、昨年11月から12月にかけての年末商戦販売額が前年を上回っており、特に消費が11月に集中した結果、12月分が減った可能性が指摘されている。

①消費では、自動車や家具などの耐久財が-1.2%、食品やエネルギーなどの非耐久財が-1.3%、サービスは+0.1%となった。

②税金の支払いなどを除いた可処分所得は+0.3%（前月+0.3%）、貯蓄率は4.9%（4.3%）。

③FRBが物価安定の目安とする個人消費支出（PCE）物価指数は、前年同月比で+0.7%となり、前月の+1.2%から急速に鈍化し、2009年10月以来の低水準となった。

④長期的に達成すべき目標とする 2%を引き続き下回っており、変動の激しい食品とエネルギーを除いた PCE コア物価指数は前年同月比+1.3%となった。

(2) 1 月のマークイット米国製造業 PMI 改定値は、53.9 と市場予想の 53.7 を上回る結果となった。生産はから 55.7 (前月 54.7) となったものの、投入価格は 49.1 (52.3) となり、2012 年 7 月以来の 50 割となった。当該指数は 50 が拡大と縮小の判断基準となる。

(3) 12 月の米建設支出は、年率換算で前月比+0.4%の 9820 億 8900 万ドルで、市場予想の+0.7%を下回る結果となった。公共部門、民間部門が共にプラスとなり、全体を押し上げた。前年同月比は+2.2%だった。

①民間の建設支出は、前月比+0.1%の 6985 億 5100 万ドル、前年同月比は+0.4%。住宅建設が+0.3%の 3495 億 6400 万ドル、住宅以外の建設は前月比-0.2%。教育、商業関連がマイナスとなった一方、製造業の支出はプラスとなった。

②共部門の建設支出は、前月比+1.1%の 2835 億 3800 万ドル。前年同月比は+6.7%となった。連邦政府が前月比+1.7%、州・地方政府は+1.1%。また、2014 年の年間は前年比+5.6%の 9614 億 200 万ドルと 3 年連続で前年を上回った。

(4) 1 月の米 ISM 製造業景況指数は、市場予想の 54.5 を下回る 53.5 となり、前月の 55.1 から 1.6 ポイント低下し、2014 年 1 月以来 1 年ぶりの低水準となった。ただ、製造業の景気拡大・縮小の判断基準となる 50 は 27 ヶ月連続で上回った。

①生産が 56.5 (前月 57.7)、新規受注が 52.9 (57.8)、雇用が 54.1 (56.0)、仕入れ価格が 35.0 (38.5)、在庫は 51.0 (45.5) となるなど、大半の構成指数が低下し、製造業部門の活動が失速している兆候を示唆した。

②1 月は 18 業種中 14 業種が業況拡大を報告した。そして、大半の業種で堅調な需要がみられるが、西海岸の港湾ストが引き続き輸出入や在庫に悪影響を与えているとの指摘もある。

1 : 35

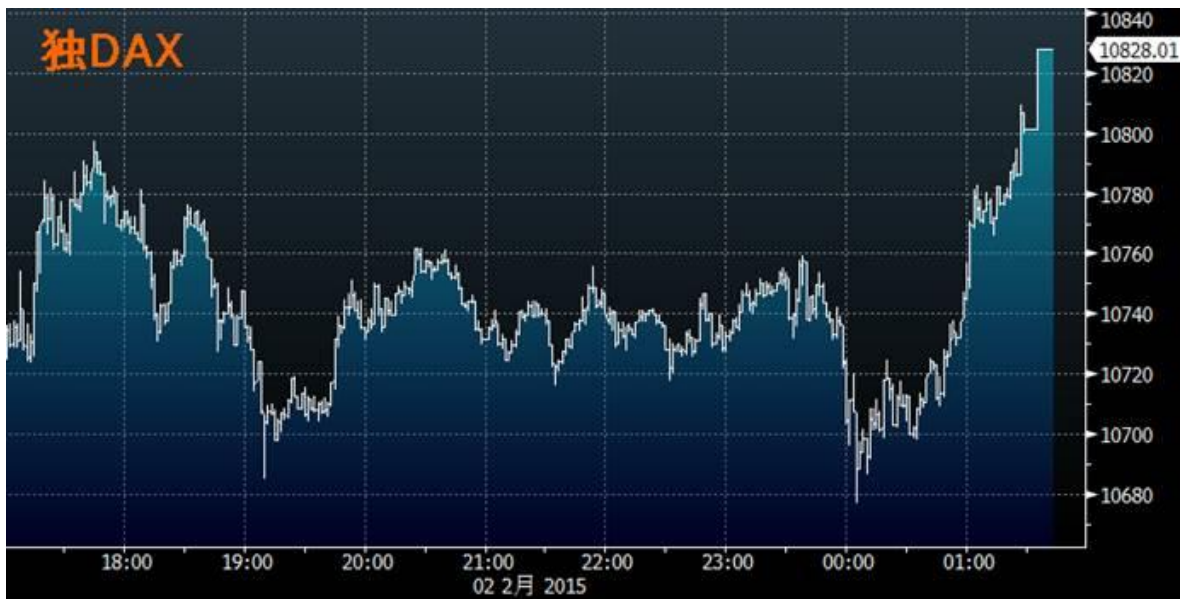
オバマ米大統領は、4 兆ドルの 2016 年度予算教書を議会提出した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6782.55	+33.15
仏 CAC40	4627.67	+23.42
独 DAX	10828.01	+133.69
ストック欧州 600 指数	343.48	+1.22
ユーロファースト 300 指数	1467.73	+2.69
スペイン IBEX35 指数	10328.10	-75.20
イタリア FTSE MIB 指数	20485.69	-17.69
南ア アフリカ全株指数	51394.55	+127.74

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、堅調な動きとなった。英 FT100 は、原油先物相場の上昇で石油関連株が値上がりし、独 DAX はドイツ企業の業績への先行き期待を背景に買いが膨らんだ。



(出所:ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17220.85 (+55.90)、 S&P500 2008.63 (+13.64)、 ナスダック 4664.51 (-11.27)

《欧州のポイント》

①ECB 理事会メンバーのリーカネン・フィンランド中銀総裁は、ECB の債券買い入れプログラムは物価安定目標を達成する狙いがあり、財政問題を優先的に考えているという事実はないとの見解を示した。ユーロシステムの債券買い入れは金融政策の効果を高める意図があり、弱めるわけではない。特に、われわれは物価安定に近づくことを望んでおり、債券買い入れがこの目的を達成するために寄与しているとした。

②ギリシャ首相は、欧州のパートナーと新たな債務合意に向けた交渉を模索する考えを示した。EU、ECB、IMF のトロイカ体制を廃止し、ギリシャと EU、IMF が直接交渉する枠組みへの変更を求めた。記者会見で「トロイカ体制の廃止や直接交渉の枠組みで、欧州は成熟し必要な発展を遂げることになる」と述べた。

③ECB 理事会メンバーのノボトニー・オーストリア中銀総裁は、ECB による QE について、効果の最初の兆候が夏までに見えるようになるとの見方を示した。また、今年上半期に多少のデフレ傾向が示される見通しだが、ことしデフレに陥るとは見込んでいないと述べた。また、ギリシャの銀行への緊急融資についてはコメントを避けた。

④クーレ ECB の専務理事は、ECB は債券買い入れについて、現在予定されている終了期限が近づけばその効果を見極めるとし、必要ならこのプログラムを追加で実施する可能性があるとの考えを示した。専務理事は「われわれは 2016 年 9 月まで、19 ヶ月間にわたり債券買い入れを行い、規模は総額 1 兆 1400 億ユーロだ」と述べた。その上で「このプログラムに制約はない。2016 年 9 月が近づけば再検討する。中期的にインフレ率が 2%に向けて収束するという目標が達成できなければ、もっとやる」と語った。

⑤ECB 理事会メンバーのヤズベツ・スロベニア中銀総裁は、スロベニアの信用格付けが引き下げられる可能性があるとの認識を示した。総裁は「ここ数週間、信用機関の 1 社が来訪し、ドイツへの依存度が大きく、格付けの下方修正を検討していると話した」と述べた。ドイツの格付けが引き下げられない場合でも、スロベニアの格付けが下げられる恐れがあると、信用機関が伝えたことも明かした。

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、最近の大幅上昇の反動で、一旦利益を確定させる売りが先行した。米電子機器大手の社債発行が伝わり、投資家が米国債を売って乗り換えるとの思惑も売りにつながった。ただ、12月の米建設支出やISMによる1月の製造業景況指数が市場予想を下回ったことをきっかけに買い戻しも入り、相場の下げ幅は縮小した。

午前の利回りは、30年債が2.27%（前週末2.22%）、10年債が1.69%（1.64%）、7年債が1.51%（1.46%）、5年債が1.20%（1.15%）、3年債が0.77%（0.73%）、2年債が0.47%（0.45%）。

4:30

NY金は、中心限月が前日比2.30ドル安の1オンス＝1276.90ドルで取引を終了した。

5:35

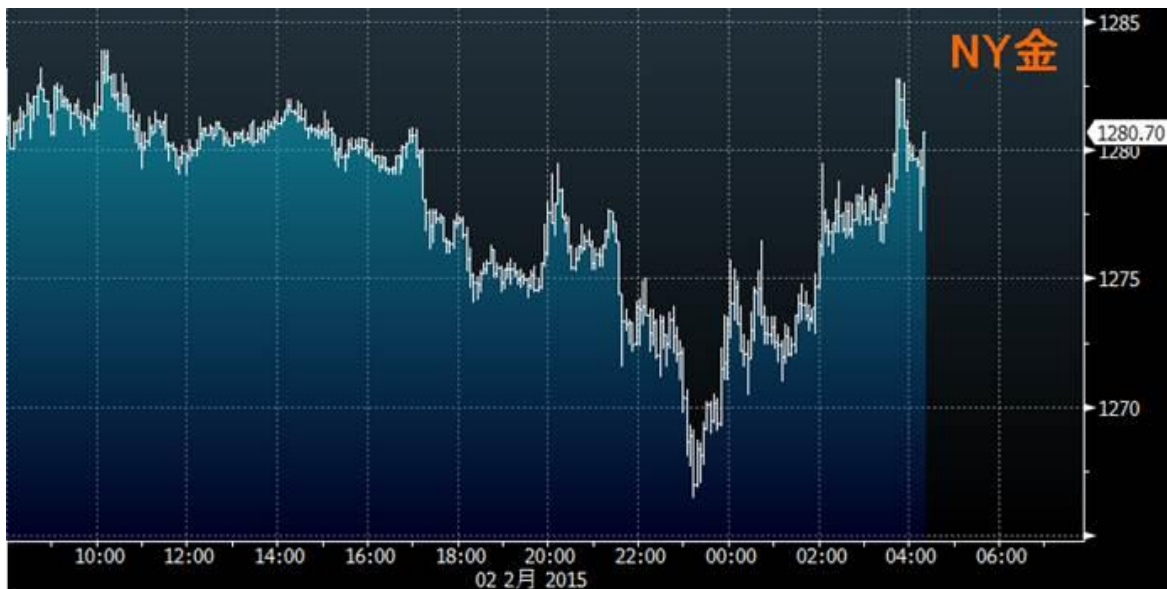
NY原油は、中心限月が前日比1.33ドル高の1バレル＝49.57ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1276.90	+2.30
NY 原油	49.57	+1.33

（出所：SBILM）

◀ NY 金市場 ▶

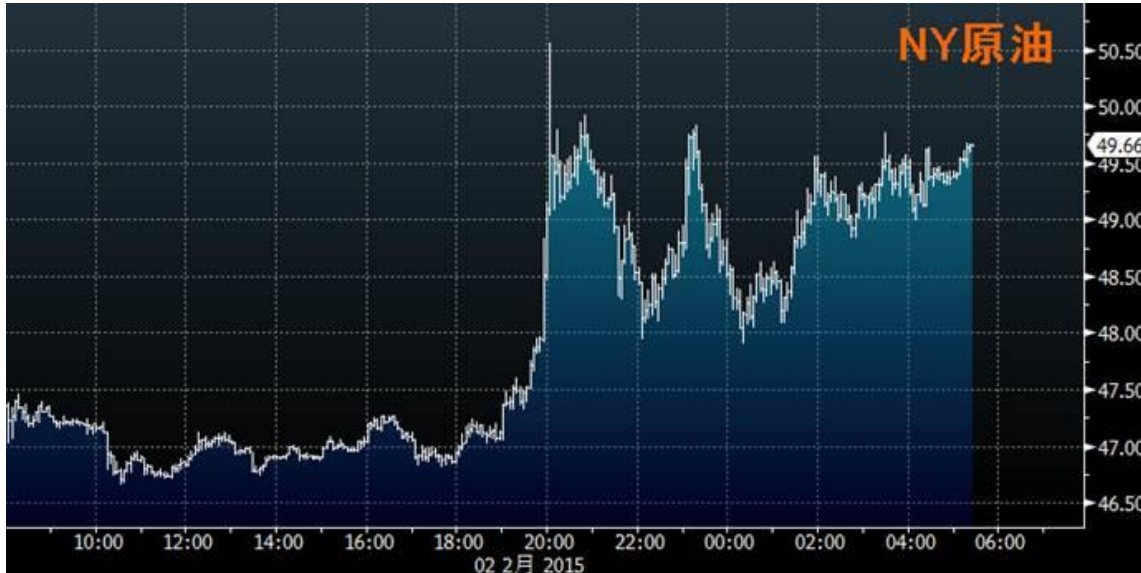
NY金は、前週末の相場上昇の反動で、利益確定売りが優勢となった。ただ、中国や米国の製造業関連の経済指標がさえないことから比較的安全な資産とされる金買い戻す動きもみられ、下げ幅は限定的だとなった。



（出所：ブルームバーグ）

<< NY 原油市場 >>

NY 原油は、前週末の大幅上昇を受けて、原油価格は底打ちした可能性があると思惑が広がり買い注文が続いた。米国内で石油掘削装置の稼働数が減少傾向にあるほか、過激派がイラク北部の油田都市キルクークを攻撃したとの報道で供給不安も広がり、時間外取引では一時 1 バレル=50.56 ドルまで上昇する場面もあった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17361.04	+196.09	17367.68	17037.76
S&P500 種	2020.86	+25.87	2021.66	1980.90
ナスダック	4676.69	+41.45	4676.69	4580.46

(出所:SBILM)

<< 米株式市場 >>

米株式市場は、米製造業の景況指数が市場予想を下回ったほか、12月の米個人消費支出も低調だったため、米景気の先行きに対する警戒感から主要株価は軟調な動きとなっている。しかし、終盤には堅調な展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤堅調な展開で始まったものの、その後は軟調な動きとなり、一時前週末比で127ドル安まで下落する動きとなった。しかし、引けにかけては堅調な動きとなり、前週比1%以上上昇する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	117.55	117.71	117.12
EUR/JPY	133.23	133.32	132.84
GBP/JPY	176.64	177.12	176.13
AUD/JPY	91.73	91.85	91.45
NZD/JPY	85.89	85.94	85.42
EUR/USD	1.1335	1.1363	1.1302
AUD/USD	0.7804	0.7830	0.7784

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米個人支出がマイナスに落ち込んだことや、米 ISM 製造業景況指数が 1 年ぶり低水準となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して下落する動きとなった。その後はやや株価が上値の重い動きとなったことから、ドル円・クロス円は軟調な動きとなったものの、終盤には株価が上げ幅を拡大する動きとなったことから、ドル円・クロス円は終盤に堅調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。